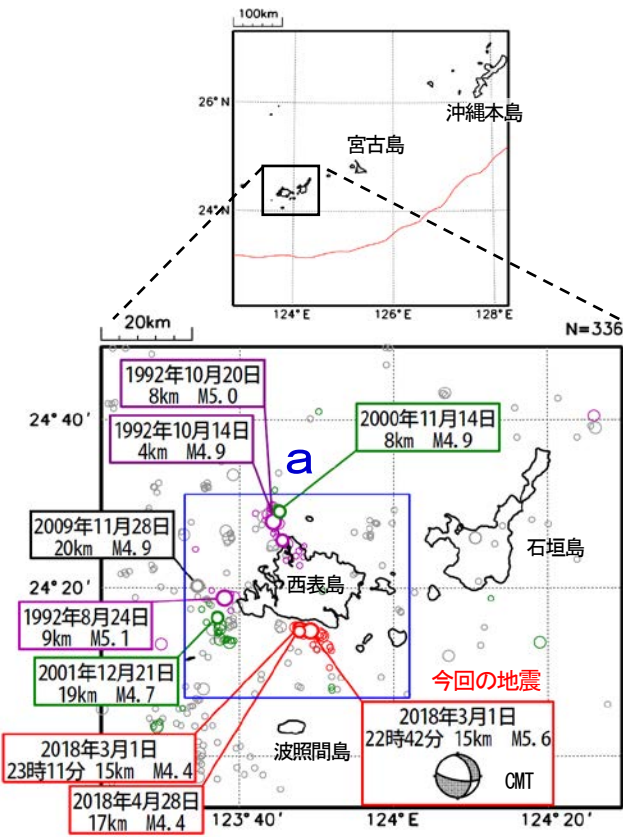


3月1日 西表島付近の地震

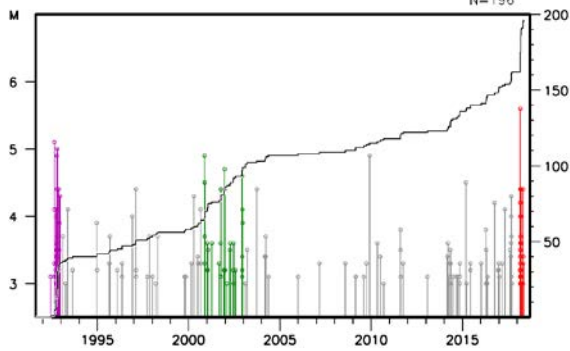
震央分布図

(1992年1月1日~2018年4月30日、
深さ0km~30km、 $M \geq 3.0$)

1992年12月までの地震を紫で、
2000年11月から2003年2月までの地震を緑で
2018年2月28日以降の地震を赤で表示

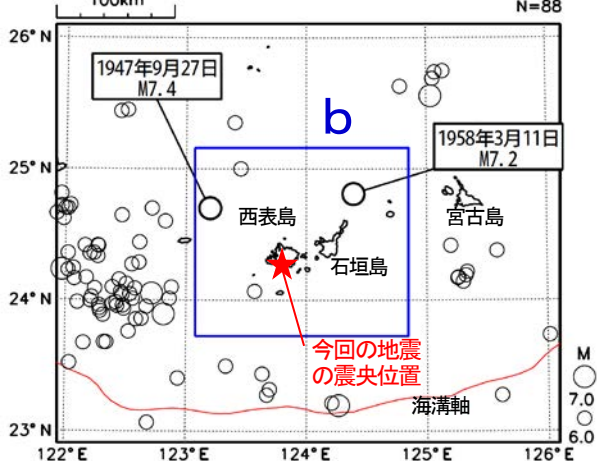


領域 a 内の M-T 図及び回数積算図

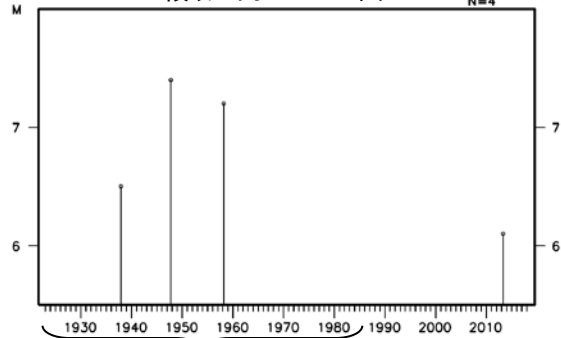


震央分布図

(1923年1月1日~2018年4月30日、
深さ0km~250km、 $M \geq 6.0$)



領域 b 内の M-T 図

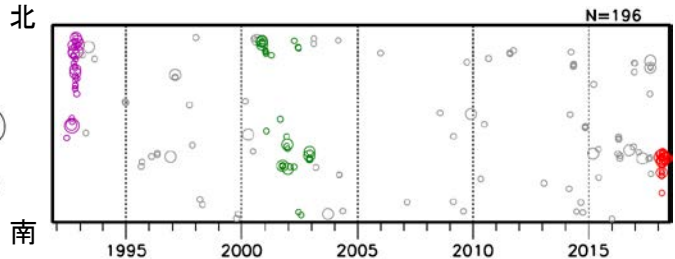


(この期間は検知能力が低い)

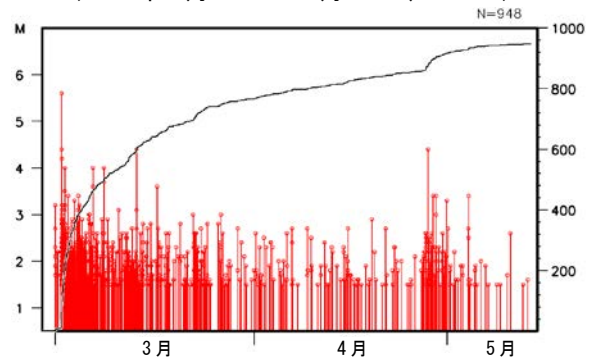
2018年3月1日22時42分に西表島付近の深さ15kmでM5.6の地震(最大震度5弱)が発生した。この地震は陸のプレートの地殻内で発生した。発震機構(CMT解)は、北東-南西方向に張力軸を持つ型であった。この地震の発生後、3月下旬にかけて地震活動が活発な状態で推移した。4月28日に発生したM4.4の地震(最大震度3)の前後で一時的に活発となったが、地震活動は低下してきている。今回の地震を含めて、5月13日までに震度1以上を観測する地震が47回(最大震度5弱:1回、最大震度3:4回、最大震度2:9回、最大震度1:33回)発生している。なお、2月28日23時16分にもほぼ同じ場所でM3.2の地震(最大震度1)が発生している。

1992年1月以降の活動をみると、今回の地震活動周辺(領域a)では、M5程度を最大規模とする地震活動が時々発生している。そのうち1992年の活動では、壁の亀裂、石垣の崩落等の被害が発生している(「日本被害地震総覧」による)。

領域 a 内の時空間分布図 (南北投影)



領域 a 内の M-T 図及び回数積算図
(2018年2月28日~5月13日、 $M \geq 1.5$)



1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、1947年9月27日にM7.4の地震(最大震度5)が発生し、石垣島で死者1人、西表島で死者4人の被害が生じている。(被害は「日本被害地震総覧」による)。